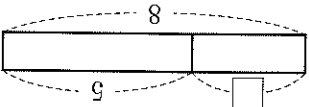


2 減法

正負の数で、2つの数のひき算を考えてみよう

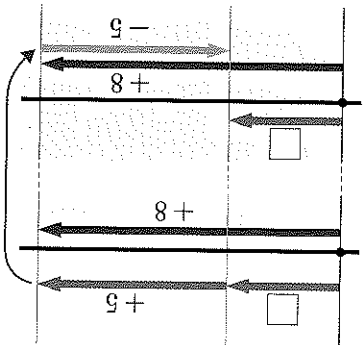


小学校で学んだように、 $\square + 5 = 8$ の \square にあてはまる数は、 $8 - 5$ というひき算で求められる。
正負の数でも同じようにひき算を考えてみよう。

次の \square にあてはまる数を求めてみましょう。

- (1) $\square + (+5) = +8$
(2) $\square + (+5) = +2$

(1) $\square + (+5) = +8$ の \square にあてはまる数は、次のひき算で求められる。



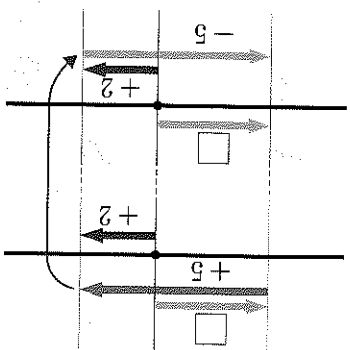
また、 $\square + (+5) = +8$ の \square にあてはまる数は、右の図からわかるように、次のたし算でも求められる。

$$\square = (+8) + (-5) \quad \text{②}$$

①, ② より

$$(+8) - (+5) = (+8) + (-5)$$

(2) $\square + (+5) = +2$ の \square にあてはまる数は、次のひき算で求められる。



また、 $\square + (+5) = +2$ の \square にあてはまる数は、右の図からわかるように、次のたし算でも求められる。

$$\square = (+2) + (-5) \quad \text{④}$$

③, ④ より

$$(+2) - (+5) = (+2) + (-5)$$

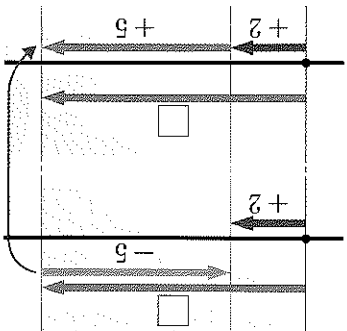
上で調べたことから、次のことがわかる。

$+5$ をひくことは、 -5 を加えることと同じである。

次の \square にあてはまる数を求めてみましょう。

$$\square + (-5) = +2$$

$\square + (-5) = +2$ の \square にあてはまる数は、次のひき算で求められる。



また、 $\square + (-5) = +2$ の \square にあてはまる数は、右の図からわかるように、次のたし算でも求められる。

$$\square = (+2) + (+5) \quad \text{⑥}$$

⑤, ⑥ より

$$(+2) - (-5) = (+2) + (+5)$$

すなわち

ひき算のことを **減法** ともいう。減法の結果が差である。

正負の数の減法の計算は、次のようにまとめることができる。

正の数、負の数をひくことは、その数の符号を変えて加えることと同じである。

正の数をひく 負の数を加える
 $(+2) - (+5) = (+2) + (-5)$
負の数をひく 正の数を加える
 $(+2) - (-5) = (+2) + (+5)$

例1

- (1) $(+3) - (+7)$ (2) $(-3) - (-8)$
 $= (+3) + (-7)$ $= (-3) + (+8)$
 $= -4$ $= +5$

次の計算をしよう。

- (1) $(+1) - (+4)$ (2) $(-6) - (-2)$
 (3) $(-2) - (+9)$ (4) $(+8) - (-4)$